

エルサルバドル政治経済月報

(2020年3月分)

2020年4月
在エルサルバドル大使館

内政

1. Nuevas Ideas 党首選挙

1日、ブケレ大統領が立ち上げた政党 Nuevas Ideas の党首選挙が行われ、ブケレ大統領の従兄弟にあたるハビエル・サブラ・ブケレ氏が勝利した。

2. 国家非常事態宣言の発令

14日、エルサルバドル国会は、世界保健機関（WHO）による新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック宣言及びエルサルバドルに差し迫った脅威を踏まえ行われたブケレ大統領からの要望に応じ、国内全地域を対象とした国家非常事態宣言を発令した。期間は30日間。

3. 憲法で保障される権利の一時的制限に関する法案の成立

14日、エルサルバドル国会は、COVID-19対策としてブケレ大統領から要望された国内全地域を対象としたエルサルバドル憲法で保障される権利の一時的制限に関する法案を可決した。同法においては、COVID-19対策として、同憲法によって保障される移動の自由、平和的に集会する自由、強制的に居住地を移されることのない権利が一時的に制限される。期間は15日間であるが、29日、エルサルバドル国会は、同法が効力を有する期間をさらに15日間延長することを可決した。

4. エルサルバドルにおける初の新型コロナウイルス感染者の確認

18日、ブケレ大統領は全閣僚同席の下、国営放送等を通じ、エルサルバドル国内で初のCOVID-19感染者1名が発生したことを発表した。31日時点で、感染者数32名、死者1名となっている。

5. 完全自宅待機命令の発令

21日、ブケレ大統領は国営テレビ等を通じ、COVID-19対策として、エルサルバドル国内全域を対象にした30日間の完全自宅待機命令を発令した。

6. 保健大臣の交代

27日、オレジャーナ保健大臣が辞任し、後任にフランシスコ・アラビ保健次官が就任する人事が発表された。

外交

1. 中国による新型コロナウイルス対策に向けた資金協力

18日、在エルサルバドル中国大使館は、対新型コロナウイルス対策としてエルサルバドル政府に対し、25万ドルの寄付を供与した旨発表した。

経済

1. 米格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる評価

ムーディーズ社はエルサルバドルの長期債務リスクに関する評価を前回と同じB3とした。一方で、民間投資の改善及び政府の流動性リスクの低さを考慮し、当国のリスクに関する評価を「安定」から「ポジティブ」に変更した。しかし、政治的対立、治安及び現在の債務残高等、リスクとなる他の要因が存在すると警告した。また、対外債務は依然として高く、国家財政への負担が増してきており、さらにエルサルバドルの制度は依然として脆弱であり、財務責任法に関連する財政政策への効果は少ないと評価した。

2. 経済危機特別閣僚会議

18日、エルサルバドル大統領府は、新型コロナウイルスに関する経済危機特別閣僚会議を行い、同会議の決議内容をFacebook Liveを通じて発表した。

カタン・エルサルバドル大統領府通商・外国投資長官は、経済危機を前に当国政府は今般の緊急事態に関わる民間企業、電力セクター、通信技術セクター及び民間銀行との協力を表明し、同危機から抜け出すには国民及び前述のセクターが連帯する必要があると発言した。

フエンテス財務大臣は、同危機に対応し、国民の福祉を保障する5つの措置を発表した。同措置は、今般の危機によって直接影響を受ける自然人または法人にのみ適用され、国家機関は対象者以外による右措置の悪用がないよう監視される。同措置の内容は以下のとおり。

- (1) 3ヶ月間の電気料金支払いの停止。右料金の支払いは、2年間で分割払いすることが可能。その期間、延滞料金及び利子が発生することなく、また信用格付けに影響することもない。
- (2) 3ヶ月間の水道料金支払いの停止。右料金の支払いは、2年間で分割払いすることが可能。その期間、延滞料金及び利子が発生することなく、また信用格付けに影響することもない。
- (3) 住宅ローン、個人ローン、クレジットカードローン、運転資金及び起業資金の返済は3ヶ月間凍結され、延滞金、罰金、利子は発生しない。また、信用格付けにも影響されない。支払いは期間満了後に再開される。
- (4) 3ヶ月間の電話、通信ケーブル、インターネットサービス料金支払いの停止。右料金の支払いは、2年間で分割払いすることが可能。その期間、延滞料金及び利子が発生することなく、また信用格付けに影響することもない。
- (5) 3ヶ月間の家具・電化製品販売店へのクレジット支払い停止。右3回分の支払いは、クレジットの期限まで残りの月で分割払いされ、延滞料金及び利子が発生することなく、また信用格付けに影響しない。

3. 経済危機特別措置

(1) 所得税還付手続開始の前倒し

23日、当国財務省は、新型コロナウイルスの流行による緊急事態を理由に、経済危機緩和のための手段として、所得税還付手続を前倒しして開始する旨を発表した。同手続プロセスは23日より開始され、すでに申告済みの数千人のエルサルバドル人に対して経済救済として適用を拡大させていき、本年は、所得税の還付金として3,000万ドルから3,200万ドルの返金が見込まれているとした。

(2) 納税義務遂行戦略の推進

24日、当国国税局(Dirección General de Impuestos Internos (DGII))は、同局が策定した行政手続を4月12日まで一時停止する旨納税者へ通知した。また、同局は観光法第16条に規定されている観光振興のための特別税の支払いが3ヶ月の間免除される旨納税者へ通知した。さらに2019年会計年度の税額が25,000ドル以下の観光セクターに従事する該当者の所得税の支払い期間を2020年5月までに延長した。

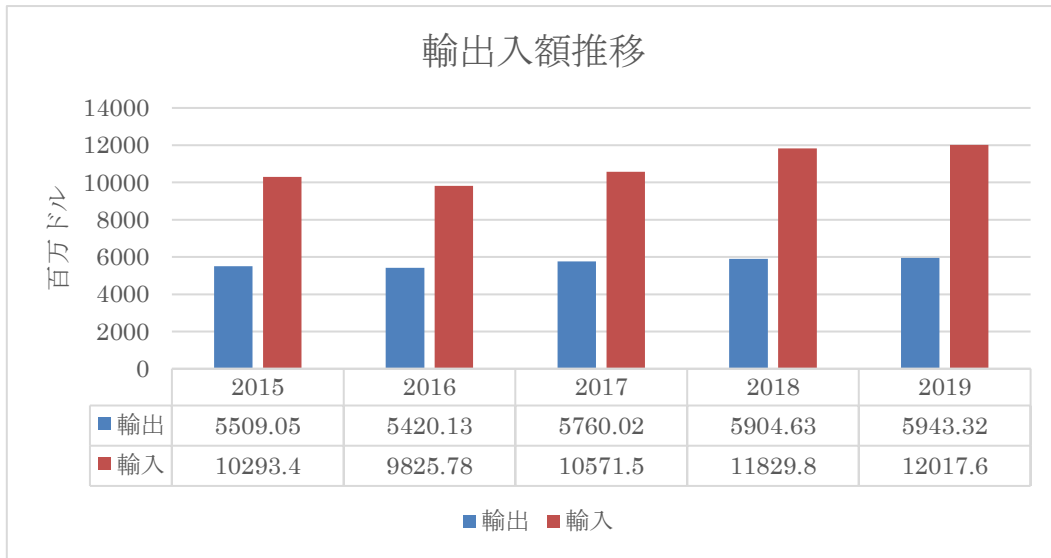
また、以下の3つの対象者は、財務総局(Dirección General de Tesorería (DGT))に対し、分割払いの許可申請が可能となる。

- ① 税額10,000ドル以下の課税対象者、
- ② 発電、送電、配電及び販売に従事する課税対象者、
- ③ テレビ、住宅用及びビジネス用インターネット、固定電話及び携帯電話等の少なくとも2つのサービスに従事している課税対象者、

2020年3月、4月、5月の所得税の前払い納税全額の支払い期間を延長し、上記③の対象者は、財務総局に対し最長6ヶ月まで分割払い許可申請が可能となる。ただし、2020年3月、4月、5月分の当該納税合計額の10%にあたる分は2000年6月に納税する必要がある。

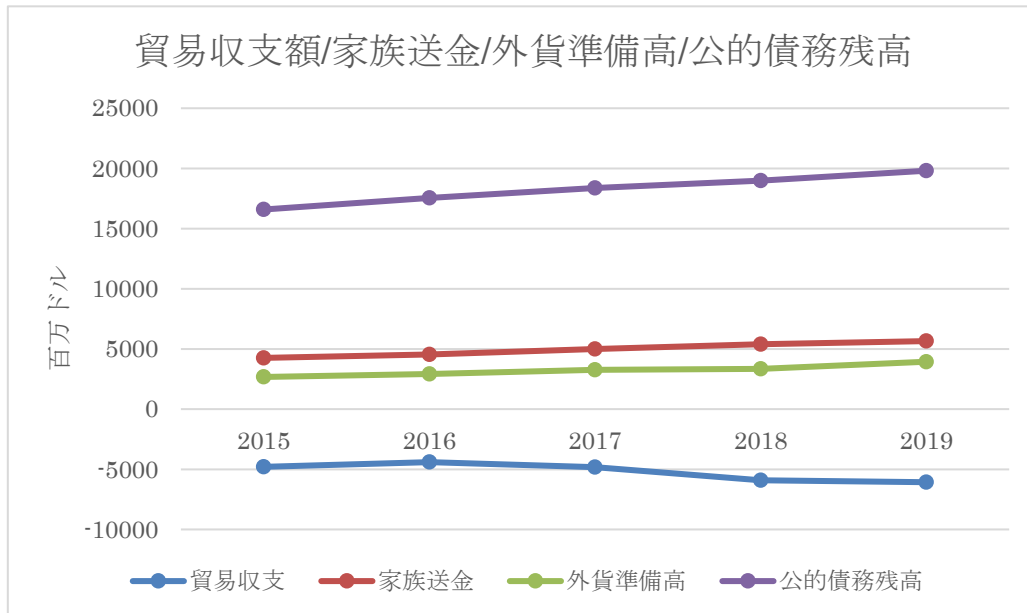
(3) 経済対策・救済プラン (Plan de Respuesta y Alivio Economico)

26日、エルサルバドル国会は、全会一致で当国政府への20億ドル借入権限を承認した。右借入のうち14億ドル(全体の70%)が保健分野の緊急事態措置及び経済活性化に充てられ、医薬品の購入、経済的影響を受けた人々への支出及びその他の措置に使用される。残りの6億ドル(全体の30%)は、新型コロナウイルスのパンデミックによって生じた損害を補うための市町村によるプロジェクトに充てられる。また、同日、当国国会は財務責任法及び緊急時の景気回復及び経済復興基金の創設のための資金調達を含む公共支出制限の一時停止に関する大統領令を承認し、財政的限界を超えることなく、より多くの負債発行を可能にするため、財務責任法を90日間停止することを承認した。



(当國中銀データをもとに作成)

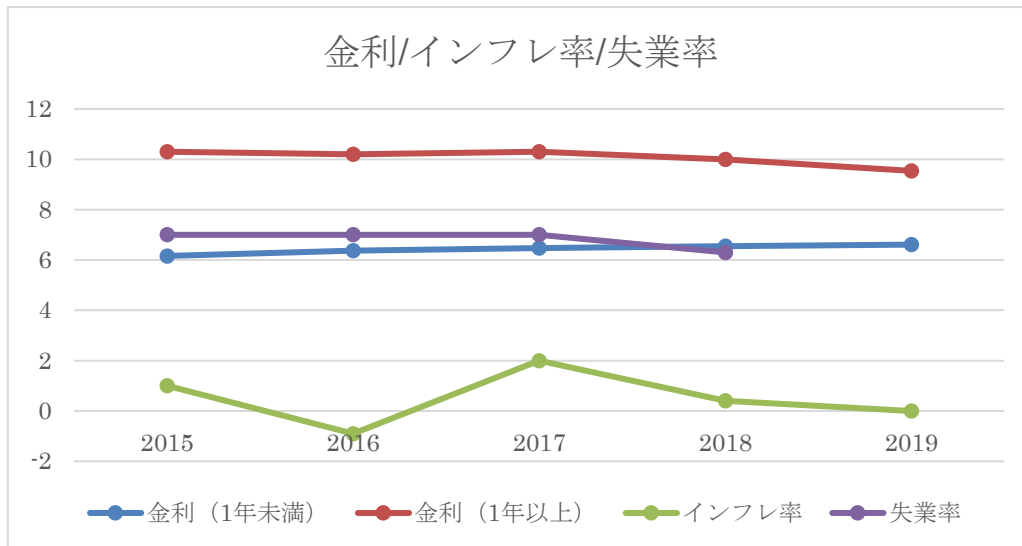
・ 2019 年の輸出額 5,943.32 百万ドルとなり、前年比 0.66%増加した。輸入額は 12,017.6 百万ドルとなり、前年比で 1.59%増加した。



(当國中銀データをもとに作成)

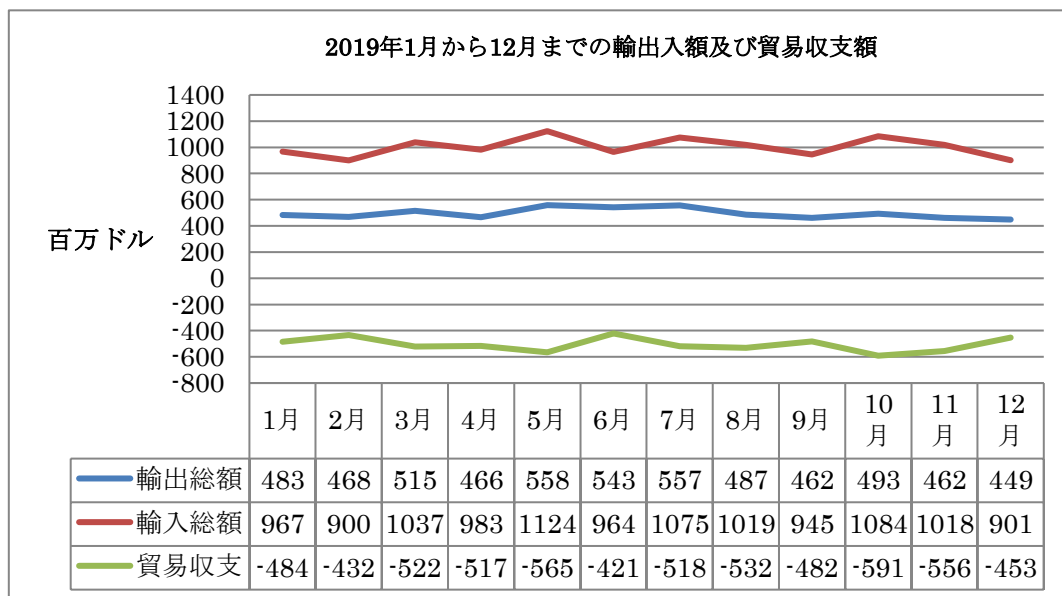
・ 2019 年家族送金額は 5,650.21 百万ドルであった。その内、米国からの送金は全体の 94.9%を占め、米国からの送金だけで総額 5,364.6 百万ドル、成長率 5.2%であった。

・ 貿易収支は-6074.2 百万ドルとなり、前年比-149.08 百万ドルであった。

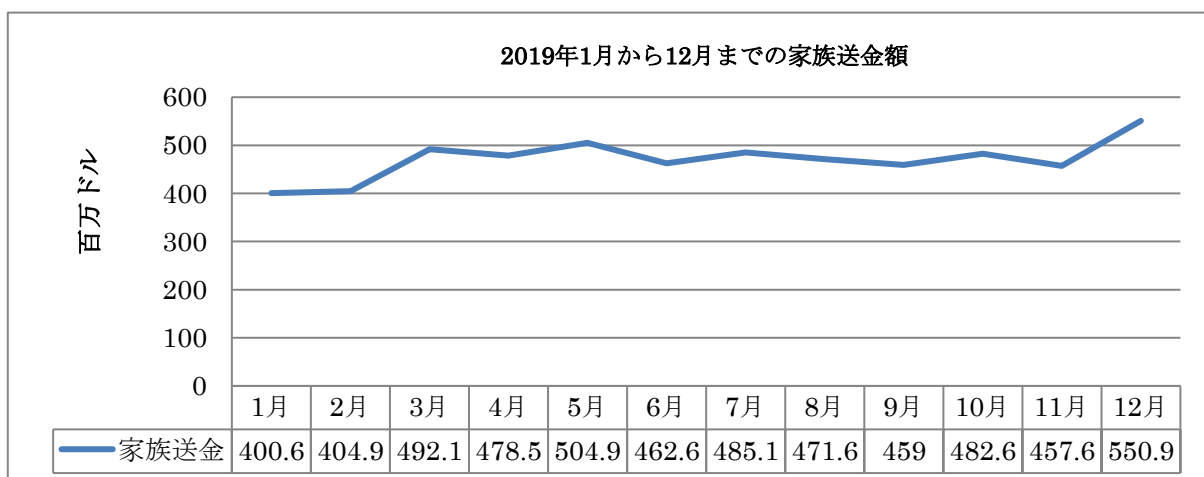


(当國中銀データをもとに作成)

・ 2019年のインフレ率は-0.004%となり、前年と比較し、0.434ポイント減少した。



(当國中銀データをもとに作成)



(当國中銀データをもとに作成)

治安

【主要事件・報道】

1. 当地主要紙による市民の治安に対するアンケート結果（報道）

3月6日、当地主要紙ラ・プレンサ・グラフィカ紙は、同社が、2月19日～2月24日の期間で、全国1,520名を対象に実施したエルサルバドル市民への治安に関する調査結果に関して報じた。（信用データ95%、誤差±2.6）

（1）直近の三ヶ月間で家族の誰かが犯罪の被害者になったか？

「はい」6.8%（前年11月比0.2%減）

（2）被害状況

被害者の大半は、金銭関係（72.8%）で、公道上やバス車内での発生が最も多かった。なお、被害者のうち警察に被害届の提出を行った人は全体の33%のみであった。

（3）住居、住宅街、公園、市中心部、市場、バス車内は安全と感じるか？

ア バスを危険と感じる	53.4%（前年11月比0.8%減）
イ 市場を危険と感じる	50.3%（前年11月比0.3%増）
ウ 市中心部を危険と感じる	36.0%（前年11月比2.8%増）
エ 公園を危険と感じる	30.1%（前年11月比3.1%減）
オ 住宅地を危険と感じる	14.8%（前年11月比1.6%減）
カ 住居を危険と感じる	10.4%（前年11月比0.6%減）

（4）その他

2019年5月に行ったアンケート対象者の77.5%の人が、バスの利用は危険と感じると回答したが、新政権発足以降の2019年8月に行ったアンケートでは54.2%、同11月は55.5%、そして今回の調査では53.4%と、危険と感じると回答した人の割合は減少傾向にある。また、国内主要都市の中心部や市場など、多くの人が訪れる他の場所に関しても上記と同様の傾向を示している。同紙では政府による犯罪地域コントロール計画（Plan Control Territorial）の目的は、人々が安全であると感じ、安心して日々の活動ができるよう、公共の場所において治安当局の存在を示すことであると締めくくっている。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

3月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチット旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦	交通事故死	配送車盗難強盗	誘拐
2020年1月	598	222	302	119	155	72	36	193	105	3	0
2020年2月	621	240	365	114	172	68	33	167	119	2	1

過去3年間同時期の犯罪件数推移

